

# Slack によるディスカッション方法

2020 年 9 月 3 日版

FSS2020 実行委員会

FSS2020 では、セッション外でのディスカッションを促進するために Slack で FSS2020 ワークスペースを立ち上げました。セッション毎・イベント毎にチャンネルを用意しますので、発表者・司会者・興味のある人はチャンネル登録してディスカッションにご活用ください。

## 1. FSS2020 ワークスペースへの参加方法

1. **学術集会 JP から案内した URL にアクセス**してください。
2. 左図のような画面が表示されます。Google アカウントを利用するか、メールアドレスを入力してください。メールアドレスを入力し、下のボタンを押した場合、右図のような画面が表示されますので、メールを確認してください。



3. 「メールアドレスを確認して **FSS2020 に参加する**」という件名のメールが届くと思います。本文中の「**ここをクリックして続行**」をクリックしてください。



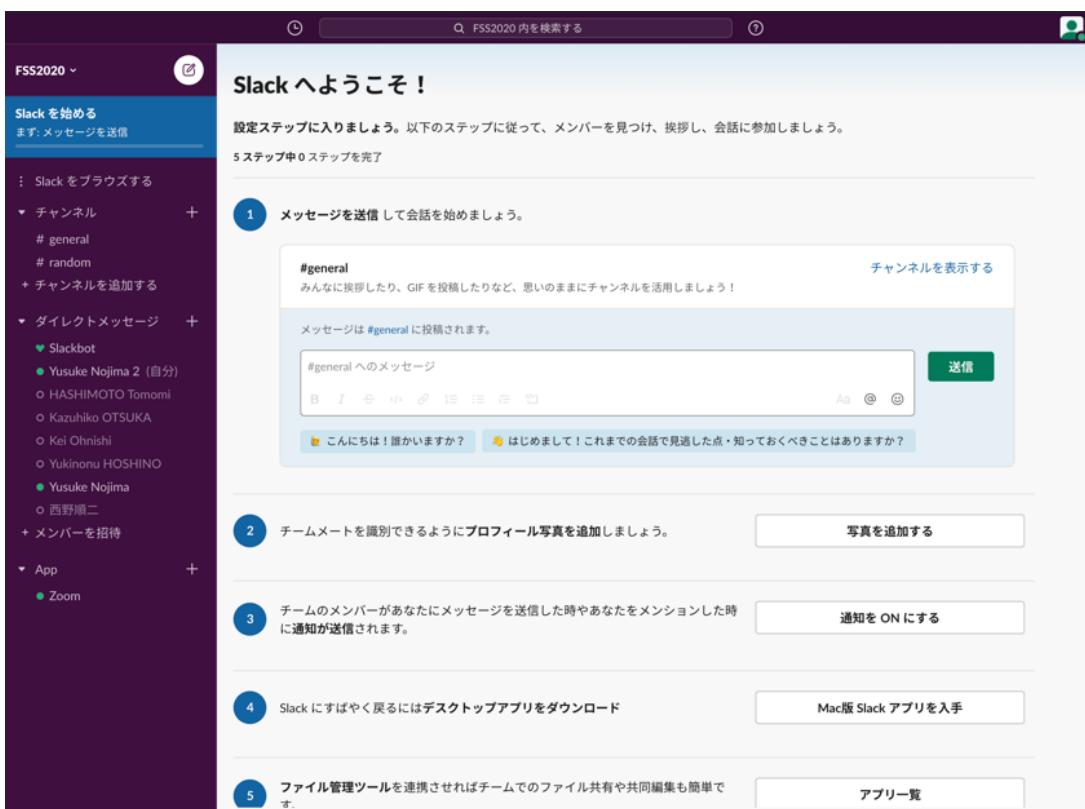
4. 以下のような画面がブラウザに表示されます。FSS2020 ワークスペースにて使用する名前を記入し、

パスワードを設定してください。名前は、ニックネームなどではなく、誰か分かるようにしてください。英語・日本語どちらでも構いません。設定後「アカウントを作成する」をクリックしてください。



The image shows the Slack account creation page for the FSS2020 workspace. At the top, the Slack logo is displayed. Below it, the title "Slack で FSS2020 に参加する" is shown. A small group photo of five people is displayed with the text "Yusuke Nojima とその他 5 人はすでに参加しています". A prominent button labeled "Google で続行する" is present. Below this, there are input fields for "氏名" (Name) with the placeholder "送信者の名前" and "パスワード" (Password) with the placeholder "一意のパスワード". A purple button labeled "アカウントを作成する" is at the bottom. A checkbox is checked, and a note below it reads: "Slack についての感想をメールでぜひ送ってください。続行することにより、Slack のユーザー向けサービス利用規約、プライバシーポリシー、Cookie ポリシーに同意したものとみなされます。"

5. ブラウザ上に以下のような画面が表示されます。設定ステップに関しては、2~4 を行っていただくと今後スムーズにチャットが使えるようになると思います。Slack を始めて使われる方は、5 はスキップしましょう。



The image shows the Slack workspace home screen for FSS2020. The left sidebar contains a navigation menu with "Slack を始める" (Get started), "チャンネル" (Channels) with a list of #general and #random, "ダイレクトメッセージ" (Direct Messages) with Slackbot and several team members, and "App" with Zoom. The main content area is titled "Slack へようこそ!" and displays a "設定ステップ" (Setup steps) section. It indicates that 5 steps are in progress, with 0 completed. The steps are: 1. "メッセージを送信して会話を始めましょう。" (Send a message to start a conversation.) with a "送信" (Send) button. 2. "チームメートを識別できるようにプロフィール写真を追加しましょう。" (Add profile pictures to identify team members.) with a "写真を追加する" (Add photos) button. 3. "チームのメンバーがあなたにメッセージを送信した時やあなたをメンションした時に通知が送信されます。" (You'll receive notifications when team members message you or mention you.) with a "通知を ON にする" (Turn on notifications) button. 4. "Slack にすばやく戻るにはデスクトップアプリをダウンロード" (Download the desktop app to return to Slack quickly.) with a "Mac版 Slack アプリを入手" (Get the Mac Slack app) button. 5. "ファイル管理ツールを連携させればチームでのファイル共有や共同編集も簡単です。" (Integrate file management tools for easy file sharing and collaboration.) with an "アプリ一覧" (View apps) button.

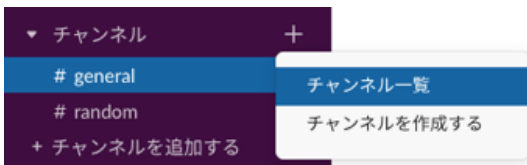
6. 左側のメニューに「チャンネル」と「ダイレクトメッセージ」があります。「チャンネル」は、トピ

ック毎に設定されています。# general と# random はデフォルトで全員入ることになっています。そのため、# general では、基本的に FSS2020 ワークスペースに参加している全員に対するアナウンスなどを行います。# random は、雑談用です。気軽にお使いください。「ダイレクトメッセージ」のところには、FSS2020 ワークスペースに参加している方の名前が並んでいます。名前をクリックすると、個別のチャット画面が表示されますので、プライベートなチャットはこのダイレクトメッセージをお使いください。



## 2. チャンネルの参加方法

1. まずチャンネル一覧を御覧ください。「チャンネル」の右横にプラス印があります。そこをクリックすると「チャンネル一覧」と「チャンネルを作成する」が選べます。ここで「チャンネル一覧」を選択してください。



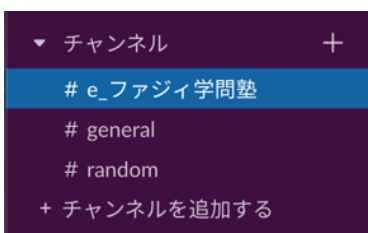
2. 参加可能なチャンネルの一覧が表示されます。各イベントには、「e\_」という接頭文字が追加されています。セッションに関してはセッション番号を先頭に追加しています（例：ma1\_人間共生1）。チャンネルには、大文字のアルファベットや色々な記号が使えないため、セッション番号は小文字になっています。「・」は「と」と言い換えていたりします。そのためセッション名を少し言い換えている場合がありますがお許しください。



3. 自分が発表するセッション、気になるセッション、何かしら関係しているセッション、様々なイベントのチャンネルには、自由に参加してください。参加方法は、チャンネル一覧画面でチャンネル名にカーソルを重ねると「参加する」というボタンが表示されます。それをクリックするとチャンネルに登録することができます。また、チャンネル名をクリックすると、過去のチャット内容と「チャンネルに参加する」ボタンが表示されるので、それをクリックしてください。

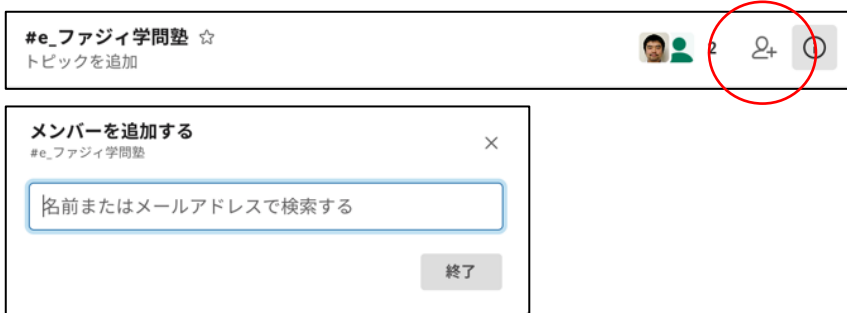


4. チャンネルを登録すると、チャンネル一覧にも追加されます。



5. チャンネル画面の右上に、人形+プラスマークのアイコンがあります。そちらをクリックするとチャンネルにメンバーを追加することができます。もし、司会者や OS の企画者であれば、発表者や関

係者を追加し、セッションの発表時間以外でもこのチャットを利用して議論を深めていただければ幸いです。



6. チャンネルを退出する場合は、チャンネル名を右クリックしてください。いろいろなメニューが表示されます。その中の「チャンネルから退出する」を選ぶことで、チャンネルから退出が可能です。



7. チャンネル内で、特定のユーザに声をかけたい際は、「@」の後にユーザ名を書き込んでください。これにより、特定のユーザに注意を引いてもらえるようになります。「@channel」をメッセージの冒頭に書き込むことで、そのチャンネル内の全員に通知することになります。@による通知がない場合、チャンネルの更新は、チャンネル名の太文字で判断することができます。

### 3. 積極的に利用する方法

ブラウザから Slack を利用する場合、通知などに気づきにくいと思います。デスクトップアプリやスマートフォンアプリをインストールすることをお勧めいたします。

<https://slack.com/intl/ja-jp/download>

また、関連する人をどんどんチャンネルに招待することで、議論も盛り上がり易くなると思います。当該セッションの前後でもご自由にお使いください。